

作成日：R7 年 10 月 10 日

令和 7 年度第 8 回 高松圏域自立支援協議会 運営会議議事録

日付	令和 7 年 12 月 12 日(金)
時間	9:20~10:50
開催会場	かがわ総合リハビリテーション福祉センター研修室
参加機関等	高松市障がい福祉課、三木町福祉介護課、直島町住民福祉課、地域活動支援センタークリマ、ヒトトコ、障害者地域生活支援センターほっと、相談支援事業所ライブサポートセンター、障害者生活支援センターたかまつ、地域生活支援センターこだま、障害者生活支援センターあい、一般社団法人 garyu、自立ケアシステム香川、NPO 法人アイルコート、相談支援センターりゅううん、高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点 順不同 計 18 名

議題 1：各部会活動報告

議事	<p>権利擁護部会)</p> <p>12/5 に三木町にて障害者差別解消法の研修会を開催。104 名が参加。差別解消法は啓発を続けていく必要があると思っている。年明けには虐待防止研修を開催予定。</p> <p>※障害者差別事例があった際に行政窓口が対応という報告があったが、高松市障害福祉課、県障害福祉課、権利擁護センターに相談したが、紛争解決はしてくれなかった。もし役割があるのであれば、積極的に介入してほしい。</p> <p>※行政が主催することで範囲を広く声掛けができたのではないか。行政と共同しながら行うことで効果が上がると思われる。</p> <p>GH 部会)</p> <p>5か所の GH に少人数ずつ希望をとって見学会を実施する予定。事業所が増えてきた現状を背景として、様々な事業所を見学することで参加者にとっても受け入れる側にとってもメリットがある。</p> <p>就労支援部会)</p>
----	--

企業への働きかけをテーマに職業センターに講話してもらった。就労選択支援会議を実施し、県行政機関、教育機関なども参加してもらった。高松市は者みなしとしない方向性。県下で統一することは難しい(県障害福祉課)運用フローが具体化されていないため、自立支援協議会で圏域版のフローを作成する計画。

ワーキングを立ち上げて、就労支援部会、相談支援部会、B型事業所部会、学校を含めて協議し、実働していくための場が必要。

協議したことなどを報告会として行政にも参加してもらった場を持つと思う。現在中部高等部2年生50名程度のため、全員ではなく、少人数から始めることが現実的。

東部でも高松住民が15名程度とか。どこまでを事業提供範囲として各事業所が定めているのかを確認する必要があるのではないかな。

ワーキングの期間などの詳細は次回の運営会議に提案。

精神保健福祉部会)

居宅ヘルパー向けの研修会を実施。ランコントロール(病院訪問)の事業を進めているところである。特定相談事業所も今年度は参加してくれるところも増えている。病院との連携企画をより深めていこうと圏域内の医療機関にアプローチしたところ、馬場病院から高松圏域の協議会として一切かかわってほしくないという連絡があった。院長の指示での対応。より連携しないかという意図ではあるが、自身の病院としては連携をすでにしているにもかかわらずこのような提案があると連携ができていないと言われているような印象を受けたことが心外である。研修会などの案内も避けるなどの配慮が必要である。

身体障害者支援部会)

日常生活用具のワーキングを立ち上げる時期を2月から半年で立ち上げようと計画している。行政、難病に詳しい保健師、身体障害の委託相談など7名くらいで2月スタートで半年の期間設定でやろうとおもうがどうか。

※対象となる障害などが現在の自立支援協議会には参加していない方に声をかける必要もあるだろう。

※次回もう少し具体的な内容を運営会議で提案する

相談部会)

良い相談支援専門員とは何かというところで日々葛藤や悩みがあることが部会の中で見えてきた。5年未満の相談支援専門員が多い。一歩おいて全体を見渡すということが難しさがあると感じた。

GSV以外にも部会員が共有できる場を今後も設定していきたい。

知的障害)

1月に部会を予定。参加する当事者にアンケートを取っているため、その結果

	<p>を踏まえて来年度以降のことを検討する。</p> <p>こども部会)</p> <p>児童発達支援・放課後等デイサービスの連絡会を実施。2月に2回目を予定している。50～60名が参加。</p> <p>医療的ケア)</p> <p>12/8 コーディネータのフォローアップ研修を実施。9、10日は養成研修を実施。基幹センターすべてに配置。</p> <p>居宅サービス事業所部会)</p> <p>12/3 映画上映実施。13事業所22名の参加。請求時期と重なっていたため、今後は開催時期を工夫する。続編の映画のお知らせを部会長経由で各部会に発信する。</p> <p>B型部会)事業所懇親会を開催。50名を超える参加者。高松は87事業所がある。質の担保、横の連携が必要であり、全体の3割弱の事業所が参加しているため、参加していない事業所への働きかけが必要だろう。</p>
--	--

議題2：R8年度体制について	
議題	<p>3か月に1回程度部会活動以外を協議する場を設定する。(別紙年間予定を参照)</p> <p>挙がってきた課題について各部会に報告、相談してもらうこととする。</p> <p>各部会、少し余力のある計画を立てる必要があるかもしれない。</p>

議題3：障がい者の性と人権について	
議題	<p>三木町より情報提供資料：「障害者の希望を踏まえた結婚、出産、子育てに係る支援の推進について」</p> <p>支援者などが、結婚、出産などを先んじて制止してはいないか。</p> <p>性教育の担保はどのようになっているのか。</p> <p>20年位前に性教育については特別支援学校では年間計画を立てて性教育のプログラムをやっている。</p> <p>性教育についてどこまで取り組んでいるのかをケースを通して、学校に問い合わせたところ、生徒の発育状況に応じて先生が独自に教材を作りながら対応しているとのこと。</p> <p>圏域における事例の集積をやってみてもよいのではないか</p>

議題 4：香川県自立支援協議会より

議題

11/18 基幹相談支援センターの報告会を開催。基幹センター8年を経て、以前より圏域マネージャーとして運営部会として参加しているが、健診→受診提案→受診→診断→サービス利用などの流れで相談につながることが多い。より、本人が在籍している保育所などで対応してもらえばよいのではないかという課題が報告会を通して、確認できた。この課題をそろそろ協議会として考えていってもよいのではないかと思う。